

46 そうでないと、あなたがたの心は弱まり、この地に聞こえるうわさを恐れることになる。
今年、うわさが立ち、その後、次の年にも、うわさは立つ。この地には暴虐があり、支配者は
ほかの支配者に立ち向かう。

47 それゆえ、見よ、その時代が来る。 そのとき、わたしはバビロンの彫像を罰する。
この全土は恥を見、 刺し殺された者はみなそのただ中に倒れる。

48 天と地とそこにあるすべてのものは、 バビロンのことで喜び歌う。
北からこれに向かって、 荒らす者たちが来るからだ——【主】のことば——。

49 イスラエルの刺し殺された者たちよ、 バビロンは必ず倒れる。
バビロンによって 全地の刺し殺された者たちが倒れたように。

50 剣を逃れた者よ、行け。立ち止まるな。 遠くから【主】を思い出せ。
エルサレムを心に思い浮かべよ。

51 『私たちは、そしりを聞いて、恥を見た。 恥辱が私たちの顔をおおった。
他国人が【主】の宮の聖所に入ったからだ。』

52 それゆえ、見よ、その時代が来る。 ——【主】のことば——
そのとき、わたしはその彫像を罰する。 刺された者がその全土でうめく。

53 たとえバビロンが天に上っても、 たとえ、砦を高くして近寄りたくしても、
わたしのもとから荒らす者たちがそこへ行く。 ——【主】のことば。』

54 バビロンから、叫ぶ声がする。 カルデア人の地から、大いなる破滅の音が。

55 【主】がバビロンを荒らして、 そこから大いなる声を絶やされるからだ。
その波は大水のように鳴りとどろき、 その声は鳴りどよめく。

56 まことに、荒らす者がバビロンを攻めに来て、 その勇士たちは捕らえられ、
その弓も折られる。 【主】は報復の神であり、必ず報復されるからだ。

57 「わたしは、その首長たちや知恵のある者、総督や長官、勇士たちを酔わせる。彼らは永遠の
眠りについて、目覚めることはない——その名を万軍の主という【主】のことば。」

58 万軍の【主】はこう言われる。 「バビロンの厚い城壁は完全にくつがえされ、
その高い門にも火が放たれる。 国々の民は無駄に勞し、
諸国の民は、ただ火に焼かれて、力尽きる。」

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年 8月 21日 (日)

礼拝メッセージノート

「バビロンへの預言VI～異邦人への裁き⑦」

| エレミヤ書講解-96 | エレミヤ書51:34~58 | 小野寺 望 牧師

【エレミヤ書 51章】

34 『バビロンの王ネブカドネツアルは、私を食い尽くし、私をかき乱して、空の
器にした。 竜のように私を呑み込み、私という美味で腹を満たし、私を洗い流
した。』

35 シオンに住む者は言え。 『私と私の肉親になされた暴虐が、バビロンに降りかか
れ』と。 エルサレムは言え。 『私の血がカルデアの住民に注がれよ』と。」

36 それゆえ、【主】はこう言われる。 「見よ。わたしはあなたの訴えを取り上げ、
あなたのために報復する。 バビロンの海を干上がらせ、その泉を涸らす。

37 バビロンは石くれの山、 ジャッカルに住みかとなり、
恐怖のもと、また嘲りの的となって、住む者はいなくなる。

38 彼らはともに、若獅子のように吼え、獅子の子のようになる。

39 彼らが苛立っているとき、わたしは彼らに宴会を開き、彼らを酔わせる。彼らは
陽気になり、永遠の眠りについて、目覚めることはない。 ——【主】のことば——

40 わたしは彼らを、子羊のように、また雄羊か雉やぎのように、屠り場に下らせる。

41 ああ、バビロンは攻め取られ、全地の誉れであった者は捕らえられた。
ああ、バビロンは国々の間で 恐怖のもととなった。

42 海がバビロンの上ののしかかり、波のざわめきにおおわれた。

43 その町々は荒れ果てた地となり、その地は砂漠と荒地となり、だれも住まず、
人の子が通りもしないところとなる。

44 わたしはバビロンでベルを罰し、これが呑み込んだ物を吐き出させる。
国々はもう、そこに流れ込むことはない。 バビロンの城壁さえも倒れてしまった。

45 わたしの民よ、その中から出よ。 【主】の燃える怒りから逃れ、
それぞれ自分自身を救え。

(4ページへ続く)

◆はじめに ～人間は人間を救えるか？

1. 「救われよ」と問いかける神 イザ45：22

- ①旧約時代にもかかわらず、全人類を範囲に含む預言的聖句
- ②唯一の神、メシアは「救われよ」と招いてくださるお方。

2. 悪魔の策略 悪魔は人殺しであり、神が与える救いのみが本物である。

- ①悪魔は常ににせものを用意する。
- ②多くの人々が引き込まれ、また多くの人々を落胆させ、本物を見えなくする。

◆メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 神が与える「救い」のみを求めて

*このメッセージは、バビロンへの預言から、神の計画の詳細を学ぶものである。

I 人々の懇願と神の答え (34～45節)

1. ユダの人々の懇願 (34～35節)

- (1) エレミヤはユダの人々の不満の言葉を代弁している。
- (2) バビロンのネブカドネツアルは、ユダを略奪した。
：「私を食い尽くし、かき乱して、空(から)の器にした。」の意味
- (2) また、竜(或いは蛇)のようにユダを飲み込んだ
- (3) バビロンが滅びるとき、ユダの民は吐き出される。
つまり捕囚の地からシオンに帰還する
- (4) ユダの人々は、神がバビロンの悪に報復してくださるようにと懇願する。



2. 神の答え (36～44節)

- (1) 神はユダの人々の願いに直接語りかける。
- (2) 神はバビロンに報復し、そこを廃墟とされる。※他の聖書箇所
 - ①その地は荒廃し、ジャッカルの住みかとなる。
 - ②それを見た異邦人たちは、その変わり果てた姿に驚き、笑う。
- (3) 神は苛立つ(どう猛な)バビロンを眠らせる。
 - ①かつてバビロンは獅子のようにどう猛であった。
 - ②神が宴会を開き、彼らに裁きの杯を飲ませる。
 - ③彼らは永遠の眠りにつき目覚めることがなくなる。
- (3) ほふり場に引かれる子羊、雄羊、雄やぎのよう滅びの意味。
- (4) 大波に襲われて見えなくなるように、バビロンは完全にその姿を隠す。
- (5) 神は偶像礼拝(ベル)をさばき、ユダの人々を帰還させる。
 - ①バベルの塔を指導者ニムロデ=主神マルドック(メドダクやベルと呼ばれる)
 - ②誤った宗教の発祥地：人間による神への反抗の頂点こそ、大バビロン。

II 帰還の命令 (45～48節) ※16：14～21「新しい出エジプト」

- (1) もし留まるなら、さまざまな噂(暴虐や戦いの噂)に翻弄され、心が弱くなる。
 - ①「自分を救え」：裁きから逃れて救われよという意味。51：6
 - ②それは神の御心に沿う選びによるのであり、捕囚からの帰還による。
*偶像に「救え」とより頼む(イザ44：17)が救われることはない。2：28
- (2) 民は、神がバビロンをさばかれることを前提に、すぐに行動を起こすべき。
 - ①心騒がせる噂が実現し、神は偶像を裁く。
- (3) バビロンが滅びるとき、天と地は神の勝利を喜び歌う。 50：28
 - ①彼らの滅び(終末預言)は「北から…荒らす者たちが来た」ことによる。
 - ②終末預言の北の王(50：9～10、41～42、ダニ11：40～45)

III 神の報復の前に (49～58節)

1. バビロンは確実に滅亡する (49～53節)

- (1) バビロン滅亡の理由はイスラエルへの不遜であり、滅びは確実に来る。
- (2) イスラエルの民は直ちにバビロンを出なければならない。
 - ①実際に捕囚から帰還したのは、
- (3) 「立ち止まるな」「エルサレムを心に浮かべよ」
 - ①捕囚の民にとって、エルサレムを思い浮かべることはつらい。
 - ②他国人が神殿や聖所を踏み荒らし、汚したから。
 - ③しかし神は必ずバビロンの偶像を罰すると約束し、民を慰める。

2. 神が報復する時 (54～58節)

- (1) バビロンの地から破滅の響き。それは大波が襲うように大軍が襲う。
- (2) 北からの軍勢はバビロンの兵士たちを捕らえ、戦力を破壊する。
- (3) 神はバビロンの指導者たちや兵士たちを永遠の眠りにつかせる。
 - ①怒りの杯を飲まされ、酔って立てなくなるように
- (4) 神の復讐、怒りの杯は避けることができない。
 - ①神の裁きを回避するために、バビロンがいかに労しても、滅びは確定している。
 - ②バビロンに「救われよ」という声かけは無い。もがく程に事態は悪化する。

◆まとめ：神が与える「救い」のみを求めて

1. 箴24：11「助けを必要とする者へ」

- ①悪魔の策略により、滅びゆくイスラエルの民を救わんとする神の愛
- ②終末的成就 ロマ11：26 ③クリスチャンへの適応 2テモ2：24～25

2. 「ほふり場に向かう」メシアの功績と罪人の行く道

- ①メシアこそ全人類の救い 1テモ1：15
- ②全ての罪人の身代わりとなり、贖ってくださった。 イザ53：7
2022.8.21